

# 広尾館だより

夏号 (Vol.38 : 2024年7月発行)

年度が始まり数か月、気が付くと暑い季節になりましたね。授業に課題、実習、テストと毎日試練の連続で気の抜けない毎日かと思えます。悩んだ時には、資料探し以外にも図書館で涼んで息抜きすることも必要かもしれません。自分のお気に入りの場所や本を見つけて、図書館を活用してください。

## 夏の読書案内

今回おすすめる本は、榊原哲也さんの著作物である「医療ケアを問いなおす…患者をトータルにみることの現象学」です。

この本では、「地域包括ケアシステム」が構築されるために必要な患者さんの日常生活を含めた全体像をみることの意義や方法を、現象学という哲学の視点から根本的に考え、そこから考えられる「医療ケア」の変化の必要性を問うています。理論に基づいた話で一見難しく理解できるかと不安になりましたが、著者が実際に研究の過程でお会いした患者さんの事例などから、一つひとつ説明されているので、とても読みやすいなと感じました。

現象学とは、フッサール(Husserl)による「物事や人々が意味を帯びて意識に現れ経験されることを「現象」と呼び、この意味現象・意味経験がどのように成り立っているのかについて、意味現象のいわば手前で、普段はそれと自覚されることなく常に働いている「意識の志向性(意識に現れる何かを何かとして捉えること)」の機能にまで遡って明らかにすること」だそうなんです。これを基に考えていくため、同じ現象でも人により捉え方が異なる意味を理解することが出来ました。

特に印象に残っている文章は、「人は何らかの『疾患』にかかっている文章は、「人は何らかの『病い』として経験していないことがありうる。しかし逆に、『疾患』を治療すれば自動的に『病い』が消滅するわけでもない。疾患が発見されても、日常生活に支障がなく、自分が大事にしていくことが問題なくできていれば、人はたいしてそれを病として経験しない。」という部分です。講義の中で看護師として、相手の意見を尊重することの大切さを学んできました。しかし、全ての事例に対して切く患者さんの意思を受け止めることは難しいと感じていました。この本を読めば、相手の見解の理解を深めるための客観的な視点を得られるのではないかと思います。

ぜひ、一度手に取って読んでいただくと幸いです。



『医療ケアを問いなおす 患者をトータルにみることの現象学』  
榊原 哲也  
筑摩書房  
【配架場所(分類番号)】  
開架・図書(WY/86/5)

案内人：浅野 楓  
(TBC会員 学部4年生)

## 夏の学生選書ツアー活動報告

今年度第1回目の学生選書ツアーが6月18日に開催されました!ご協力いただいたのは紀伊国屋書店 新宿本店さんです。学生有志の皆さんと一緒にたくさんの本を選書してきました!そこから選定を受け、秋ごろ学生選書コーナーに配架される予定です。お楽しみに!

次の開催日程は秋ごろを予定しています。決まりましたら、図書館ホームページやポータルの定期配信でご案内しますので、ふるってご参加ください。

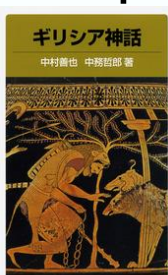
## 学生選書Pickup

他にも人気の本や興味深い本がたくさんあります!



宮島 未奈  
『成瀬は天下を取りに行く』  
(新潮社刊)

24本屋大賞受賞  
身近にいそうでない  
まっすぐ我が道を進む成瀬の  
魅力が詰まった物語



中村 哲也、中務 哲郎  
『ギリシア神話』  
(岩波書店)

聖書と並ぶ必読書!  
西欧における精神的影響も  
さることながら神と人間の縁  
り広げる愛憎劇は見もの



前田 樹海、江藤 裕之  
『APAに学ぶ看護系論文執筆  
のルール』  
(医学書院)

研究基礎から論文まで  
あれば役に立つ一冊  
書き方に悩んだら手に取っ  
てみてください



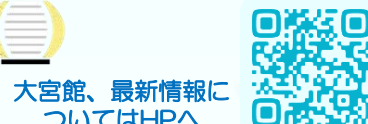
ヨシダ ケンスケ  
『りんごかもしれない』  
(フロンズ社)

大人も子どもも楽しく読める  
柔らかいイラストで子ども  
の動きや表情をよくとらえた知  
的好奇心をくすぐる一冊



もう@リベ大学長  
『本当の自由を手に入れる  
お金の大学』  
(朝日新聞出版)

「お金は大切、感謝の対価」  
人生で起こる、さまざまな出来事  
のために、お金のことを学ぼう!  
金融の仕組みや資産形成の基本  
がわかります



大宮館、最新情報についてはHPへ

## 広尾館開館カレンダー

通常開館	月~金	8:50 - 21:00
	土	10:00 - 17:30
	日	13:30 - 17:30
*土日は本学在籍者限定 *新館 看護研究センター 研究室は土曜のみ利用可		
短縮開館	8:50 - 14:00	
休館	8:50 - 17:00	
閉館		

7月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					



# 夏季・長期貸出の お知らせ

## 7/12(金)から長期貸出を実施します!

### 返却期限：2024年10月15日(火)

- ・開始日以前に貸出された図書を延長した場合も返却期限は、10/15(火)になります。(延滞・予約図書を除く)
- ・長期貸出中に貸出した図書の延長はできませんので、ご注意ください。
- ・開始日以前の貸出は対象外となります。
- ・貸出冊数の変更はありません。

## 世界図書館探訪

インターネットが普及したことによって図書館は以前よりもその役割を問われるようになりました。もちろん日本だけでなく世界でも。世界図書館探訪ではそんな様々な国の図書館の魅力に迫っていきたいと思います。

# LA

# SOURCE



## ラ・ソース大学図書館



ラ・ソース大学図書館「CEDOC」  
ラ・ソース大学HPより



ラ・ソース大学展示コーナーと所蔵品 (川原先生撮影)

本学の交換留学協定校のラ・ソース大学(スイス)の図書館のご案内です。CEDOC(Center of Documentationの略)という名称で、本学の約3分の1程度の広さですが、美しいデザインで、静かに、快適に勉強できる空間です。利用案内によると月～木：8:00-18:30、金：8:00-17:00、夏休みは7月15日～8月2日まで、冬休みは12月23日～1月3日まで。私たちが訪れたときは1名の学生さんが学習をしていました。

館内資料は医学・看護のベーシックなものに限られ、少ない印象でした。司書の方によると、学生はオンラインで資料を利用することが多いとのこと。大学は、所在地であるスイスのヴォー州の約150の図書館等からなるネットワークに参画しており、あらゆる分野の膨大な資料にアクセスができ、またこれらのツールを使いこなせるように専門チームが支援をしています。

もう一つ紹介したいのは大学のアーカイブ資料。ヨーロッパには宗教を背景とする看護婦の養成は古くからありましたが、この大学は1859年に設立された世界初の宗教を背景としない看護婦養成施設です(ナイチンゲールは1860年聖トーマス病院で看護婦養成を開始)。貴重な史料を所蔵し、展示もしています。写真下はナイチンゲール愛用の聖書。彼女からこの大学への贈り物です。

時代に応じて合理的な仕組みへと自らを刷新していく一方で、源流となった自校の歴史を大切にすると、古さと新しさが共存している素敵な大学だなと感じました。

川原 由佳里 先生